

事業実施報告

■事業名

災害福祉広域支援ネットワーク事業

■実施主体

長野県災害福祉広域支援ネットワーク準備会（社会福祉法人長野県社会福祉協議会）

■事業報告

実施名	平成30年度長野県総合防災訓練 訓練No 29-2 福祉避難所・災害派遣福祉チーム運用訓練
開催日時	平成30年10月21日（日） 8時30分～12時00
開催場所	塩尻市中央スポーツ公園 弓道場（塩尻市大門六番町4番6号）
参加者数	58人（準備会構成団体等28人、訓練参加団体10人、要配慮者避難誘導訓練参加者20人）
実施内容	<p>【訓練1】「災害派遣福祉チーム初動ロールプレイ」 災害派遣福祉チームの派遣シナリオを用いて、参加者で読み合わせロールプレイを行い、災害初動期から現地派遣後の活動の流れを確認し、派遣のイメージの中でそれぞれがどんな役割を果たすのか確認した。</p> <p>【訓練2】「福祉避難所設の設営訓練」 段ボールベットや避難所用パーテーションを用いて、福祉避難所を設営した。要配慮者が安心して避難してこれるようにどうすれば良いのか体験を通して学んだ。</p> <p>【訓練3】「福祉避難所の訪問」 塩尻市の指定福祉避難所の一つである「すがのの郷」を実際に災害派遣福祉チームメンバーの代表者3名で訪問し、ヒアリングを行った。具体的な被災想定に基づく被害状況や必要な支援内容をヒアリングを通して、災害派遣福祉チームの本部へ報告した。</p> <p>【訓練4】「要配慮者受入訓練」 他の訓練種目である「災害時要配慮者避難誘導訓練」の参加者20名が実際に福祉避難所を訪れ、段ボールベットの体験や、パーテーションの見学などを行った。その際に車いすで実際にパーテーション内に入るなど、体験した。</p> <p>【訓練5】「要配慮者へのヒアリング訓練」 訓練参加者に要配慮者情報を提供し、認知症高齢者や精神障がい者、臨月の妊婦など要配慮者役と支援者役に分かれてロールプレイを行った。福祉避難所に避難してきた経過や障害の状況、付添の有無など、要配慮者個々の状況に応じて必要な支援が変わることを体験を通して学んだ。</p> <p>※訓練の写真は別紙のとおり</p>
成果・課題等	<p>「福祉チームの派遣について災害時では混乱してしまうので、日頃からの備えや訓練が重要だと感じた。」「福祉チームだけで課題解決は困難であり、医療関係者等様々な団体との連携が必要だと感じた。」「災害時に困りごとをなんでも聞いてもらえる場は重要だと分かった。しかし、何もそろっていない場で、何を伝えるのが悩ましい」など感想が出された。</p> <p>今回の訓練を活かして第2回準備会で反省を共有し、今年度中にネットワーク組織立上げに向けて準備していきたい。</p>

平成 30 年度長野県総合防災訓練 福祉避難所・災害派遣福祉チーム運用訓練

●開催日時 平成 30 年 10 月 21 日 (日) 8 時 30 分～12 時

●会 場 塩尻市中央スポーツ公園 弓道場

●参加者数 58 人 (準備会構成団体他)

●実施内容

【訓練 1】「災害派遣福祉チーム初動ロールプレイ」

災害派遣福祉チームの派遣を、シナリオを用いてロールプレイで実施。災害初動期から現地派遣後の活動の流れ及び各自の役割を確認。



【訓練 2】「福祉避難所設の設営訓練」

段ボールベッドや避難所用パーテーションを用いて、福祉避難所を設営。要配慮者の避難生活を意識した空間づくりを体験。



【訓練 3】「福祉避難所の訪問」

塩尻市の指定福祉避難所の一つ「すがのの郷」を災害派遣福祉チームメンバー 3 名で訪問。具体的な被災想定に基づく被害状況や必要な支援内容をヒアリングし、災害派遣福祉チームの本部へ報告。



【訓練 4】「要配慮者受入訓練」

災害時要配慮者避難誘導訓練の参加者 20 名が福祉避難所を受け入れ、段ボールベッドの体験や、要約筆記等の情報支援コーナーの見学。



【訓練 5】「要配慮者へのアセスメント訓練」

訓練参加者に提供された要配慮者情報を基に、要配慮者役と支援者役に分かれてアセスメント訓練を実施。



コメント

「福祉チームの派遣について災害時では混乱してしまうので、日頃からの備えや訓練が重要だと感じた」

「福祉チームだけで課題解決は困難であり、医療関係者等様々な団体との連携が必要」

「災害時に困りごとをなんでも聞いてもらえる場は重要だと分かった。しかし、何もそろっていない場で、何を伝えるのが悩ましい」